

今日のトピック インドの経済・市場動向 (2018年5月前半)

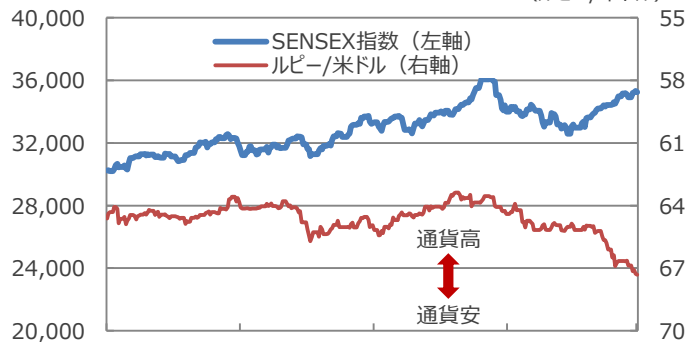
インドルピーが弱含み、株式市場は堅調地合い続く

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	5月10日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.63	▲0.8	▲1.5	▲6.7	▲8.1
ルピー/米ドル (ルピー)	67.32	1.0	3.6	3.3	4.2
金利					
政策金利 (%)	6.00	0.0	0.0	0.0	▲0.3
10年国債利回り (%)	7.72	▲0.0	0.4	0.8	0.8
株式指数					
SENSEX指数	35,246	0.4	4.0	5.8	16.5

(注) データは2018年5月10日基準。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(ポイント) 【インドの株式と通貨の動向】 (ルピー/米ドル)



(注1) データは2017年5月10日～2018年5月10日。 (年/月)

(注2) (ルピー/米ドル) は逆目盛。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント1 **インドルピーは対米ドルで下落**
対円では概ね横ばい

- インドルピー相場は、対米ドルで下落しています。米国の長期金利の上昇に伴う米ドル高により、新興国からの資本流出圧力がかかり、経常収支赤字国のインドの通貨ルピーは、アジア通貨のなかでも下げ幅が大きくなりました。最近の原油価格の上昇もインドの経常赤字拡大につながるため、通貨安要因として嫌気されています。なお、3月下旬以降は円も対米ドルで下落しているため、ルピーの対円相場は概ね横ばい圏で推移しています。

ポイント2 **株式市場は堅調な展開**
3か月ぶりの高値水準

- インド株式市場は、3月下旬の年初来安値から底入れ後、上昇基調が続いています。主要株価指数のSENSEXは約3か月ぶりの高値水準にあります。インド株式市場は、インフレの落ち着きや鉱工業生産の上振れなどの良好な経済環境を反映し、それまでの悪材料を消化する形で株価が大きく戻る展開となりました。

今後の展開 **一段のルピー安には歯止めがかかる見通し**

- インドルピー相場は対米ドルで、原油価格の上昇や内需増加による経常赤字拡大観測から、当面下落圧力をうけるものの、モンスーン（雨季）の降水量は平年並みとの予報もあり、インフレ上振れリスクは限定的とみられることや、購買力平価の観点では売られ過ぎに近いことから、下落には歯止めがかかると思われます。
- インドの株式市場は、過去最高値に接近していますが、経済改革に積極的なモディ政権の下で、景気加速に伴う企業収益の拡大基調が相場を支えると期待されます。今後はインド準備銀行の金融政策の方向性や、地方選挙を通じた与党インド人民党（BJP）に対する信任などが注目されます。

ここもチェック! 2018年5月 1日 インドの『モンスーン』は平年並みの予報
2018年4月25日 インドの経済・市場動向 (2018年4月後半)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。